

+++++

「植物と人々の博物館メールマガジン」 第 33 号 2017 年 8 月 15 日発行

+++++

お盆のころ、帰省されている方々も多いことでしょう。小生らは渋滞が嫌なので、近所の公園を散策する程度で、引き籠りしています。今年は暑いと言いながら、台風など雨が多くなり、日照時間が少なく、夏野菜が不調です。期待していたスイカ大和 2 号は途中で生育をやめてしまい、熟しませんでしたが、キュウリ、カボチャ、ズッキーニはなんとか良好です。ナス科作物は不調ですが、トウモロコシはたくさん穫れました。陸稲以外の雑穀類は良いです。小菅のキヌアはまたテントウムシダマシの餌食に遭い、ボロボロですが、藤野では良好な生育です。山間地農耕は経験を積んでいてもむずかしいです。

会員および配信を希望される方に「植物と人々の博物館」の公開活動ニュースなどをお送りしています。なお、自然文化誌研究会の全体の活動は「ナマステ」でお知らせしています。地方創生と大騒ぎしていても、「辺境」の地道な市民活動にはほとんど関心もたれませんが、顔見知り信頼のクチコミで友人・知人に転送伝達していただくと嬉しいです。

## ○報告

1. **FAO 世界農業遺産** の関連情報をお伝えするウェブページ『雑穀街道』では、雑穀街道普及会の賛同者を募っています。賛同が広がるようにどうぞご援助くださいますようお願いいたします。雑穀街道普及会として、順次、市村農林担当者にお目にかかり、賛同をお願いして回ります。現在賛同者は 70 名ほどになりました。この 100 倍ほどを目指したいと思います。

そうしないと市・村行政は取り上げてくださらないと思いますので、FAO 世界農業遺産ですから他地域や外国の方々も含めて賛同者を増やすように一層のご助力をお願いします。

下記ホームページに活動の現況を順次更新していきます。関東山地で雑穀調査研究を始めた 1974 年ころからの調査資料や文献を掲載しています。

また、最近の講義なども e-ラーニングできるように、日本村塾のページに入れておきます。FAO 世界農業遺産の日本分関連資料は収集してあります。

また、美しい村、エコミュージアムなど海外の資料もファイルしてありますので、参考にさせていただきます。

「植物と人々の博物館／森とむらの図書室」で資料・図書は閲覧していただけます。

<http://www.millemplific.net/milletworld/millstr.html>

## 2. 植物と人々の博物館の移転

小菅村中央公民館から村内の細川邸付属倉庫に無事移転しました。もう一度梱包を解いて、徐々に整備していきます。

中央公民館は耐震工事に入ります。小菅村の民具の措置については、とりあえず別の倉庫に收容して、その後、細川邸母屋を古民家再生で改修してから、2・3階に展示することになるようです。

小菅村教育委員会から引き続き展示管理を求められれば協力します。来年にむけて、展示「多様な生業」を企画中です。

## 3. ミレット藤野・自給農耕ゼミ

2回分の作成した講義資料は、ホームページ「雑穀街道」のなかで、e-ラーニングできるようにします。

## 4. 雑穀街道の巡検受け入れ

8月10日 小・中・高校の社会科教員グループ8名の巡検で、小菅村内の自然文化誌研究会関連のキャンプ場、雑穀栽培見本園、植物と人々の博物館をご案内しました。とても熱心に質問をしていただいていたのでうれしかったです。

## 5. パーマカルチャー・フェスティバル 2017 にて「種子」についての公開討論会で話題提供をしました（45名参加）。

熱心な若い方々が多いですが、植物についての理解が受験勉強的で、事実離れていると感じました。日常生活においても、自然に接したり、植物と暮らしている方々が少ないのでしょうか。小・中・高校の理科の教科書を受験勉強ではなく生活にそくして、読みなおしてほしいと提案しました。

## 6. 伝統知研究会の報告書「都市民と農山村をつなぐ仕事と学びの創造」ができました。会員の方には8月終わりころにナマステと一緒に送られます。下記ホームページほかでも読めるようにしますが、ご希望の方にお送りします。

### ○予定

#### 1. 作業予定日：8月10日（木）、18日（金）ほかの予定です。

移動先の植物と人々の博物館では、順次、図書・資料や民具の展示を再開していきます。作業にご協力いただきたく、よろしくお願ひします。ご協力いただける方は黒澤または木俣にメールしてください。ご都合に合わせて、日程調整します。

[kibi20kijin@yahoo.co.jp](mailto:kibi20kijin@yahoo.co.jp)

## 2. ミレット藤野で雑穀栽培ワークショップが企画されています。

5月下旬から秋まで6回、播種から加工・調整、調理まで実技と講義を行います。詳細は下記ホームページにあります。

<http://www.milletimplic.net/collegefores/milletfujino17.pdf>

申込先；メール [milletfujino@gmail.com](mailto:milletfujino@gmail.com) ファックス [042-687-5639](tel:042-687-5639)

## 3. 提案

### 1) 第40回環境学習セミナー（案）

話題：雑穀街道における家族農業、自給農耕、ファーマーズマーケットの楽しみと食料安全保障について、2・3人の講師をお願いして話し合いたいと考えます。日時：秋。場所：上野原市。実施経費について何らかの助成が得られたら、企画を進めたいと思いますので、ご意見をお寄せください。都市農業や家族農業の文献を集めています。

### 2) 日本村塾ゼミ（読書会継続）

皆様お忙しく、なかなか開催できませんが、秋になり、希望者があれば開催します。ご意見、ご要望をお知らせください。

自給農耕ゼミはミレット藤野で開催することになりましたので、読書会は下記2ゼミで行います。縄文農耕の発掘も進み、日本の庶民史が面白いです。

### 民族植物学ゼミ第5回 日時・場所；未定。

・農耕文化について学び直したいと思います。

テキスト；中尾佐助 1966、『栽培植物と農耕の起源』、岩波新書（重版あり）、再読したいロングセラーです。参考図書；同左（1967）、農業起原論、森下正明・吉良竜夫編『自然-生態学的研究』、中央公論社、所収。佐々木高明 2013、『日本文化の源流を探る』、海青社、大津。

・自然と感じ合う農耕の楽しさを語り合いたいと思います。民族植物学ゼミ第4回で出た話題を深めます。

テキスト；レイチェル・カールソン（1956）、上遠恵子訳（1996）『センス・オブ・ワンダー』、新潮社。

参考図書；同左（1962）、青樹築一訳（1974）『沈黙の春』、新潮社。

### 扶桑◆拭◆ぢゼミ第3回 日時・場所；未定。

この分野に関連して、認定NPO法人環境文明21で「憲法に環境原則を追加する提案」についての研究会が8月21日（月）午後6時（大崎）から始まります。

ご興味があれば詳細をお知らせします。日本村塾で学びたい方があれば、ゼミもしたいです。

・明治維新から 150 年の日本の在り方を学び、考え直したいと思います。

テキスト；羽仁五郎（1956）『明治維新-現代日本の起源』、岩波書店（絶版中古有）。参考図書；原田伊織（2015）『明治維新という過ち』、毎日ワズ；西鋭夫（2016）『新説・明治維新』、ダイレクト出版；西野辰吉（1972）『秩父困民党』、講談社；森田康夫（1993）『大塩平八郎の時代-洗心洞門人の軌跡』、校倉書房。その他。

・柳田民俗学「稲作単一民族説」の瑕疵や関連して新旧憲法の比較なども話し合ってみたいです。

**4. 民族植物学第 11 号** の仮編集を始めました。予定された方々のご寄稿をお待ちしています。環境学習セミナーの報告、野生植物の利用、九州・沖縄の雑穀栽培などを準備しています。・・・バックナンバーは第 7 号～第 10 号まで少しあり、希望者に差し上げます。第 1 号から第 10 号まで、すべての記事はホームページで読めます。

**5. 『雑穀のインド亜大陸』** は民族について学びながら、ネパール・ブータン、パキスタンおよびインド各州について、個人の現地調査の体験をまじえながら、自由に書いています。なかなか進まずに、未定稿ですが順次章ごとに公開し、必要に応じて改訂していきます。同じく、『日本雑穀のむら』および『環境学習原論』も書き始めました。ともに、下記の個人ホームページから引用してくださる場合は、「木俣美樹男（2017 未定稿）」としてくださるようお願いいたします。

#### **6. 『ELF 環境学習過程』**

ELF 環境学習過程を基本にして、三省堂編修所の『こどもかんきょう絵じてん』を監修させていただきました。8 月 25 日に発刊される予定です。幼少児とその若い両親に読んでいただきたいです。

\*\*\*\*\*

自然文化誌研究会（東京都日野市）：代表 中込卓男、副代表 中込貴芳（東京）、小川泰彦（埼玉）

ミュージゼス研究会／トランジション小菅（山梨県小菅村）：代表 青柳諭、副代表 亀井雄次

植物と人々の博物館（山梨県小菅村）：館長 木下善晴

日本村塾生・研究員：木俣美樹男（東京）、西村俊（石川）、藤盛礼恵（千葉）ほか

雑穀街道普及会 <http://www.milletimplic.net/milletworld/millstr.html>

事務局長：黒澤友彦（山梨県小菅村） [npo-inch@wine.plala.or.jp](mailto:npo-inch@wine.plala.or.jp)

公式 HP：自然文化誌研究会 <http://www2.plala.or.jp/npo-inch/>

植物と人々の博物館 <http://www.ppmusee.org/>

メールマガジン発行：木俣美樹男 [kibi20kijin@yahoo.co.jp](mailto:kibi20kijin@yahoo.co.jp)

個人 HP: 生き物の文明への黙示録 <http://www.milletimplic.net/>

\*\*\*\*\*

木俣美樹男 Mikio KIMATA [kibi20kijin@yahoo.co.jp](mailto:kibi20kijin@yahoo.co.jp)

植物と人々の博物館／日本村塾 研究員塾生

Nihonmura College for Environmental Studies, Plants and People Museum

公式 HP： <http://www.ppmusee.org>

個人 HP: <http://www.milletimplic.net>